

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2019年 12月 1日

事業所名：ハイトップファミリー伊丹

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分なスペースを確保し、空間分けが出来るようになっている。	十分に確保されているという回答であった。	今後も十分なスペースを確保していきたい。状況に応じた空間分けも考えていきたい。
	2 職員の適切な配置	適切な人員配置を行っている。	わからないという回答もあったが、適切な配置であるという回答が多数であった。	適切な人員配置を今後も行っていきたい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	一人ひとりに合わせた支援が行えるように設備整理を行っている。	適切な設備整備という回答であった。	現在、問題はないが必要に応じて整備していきたい。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清潔を保つように、利用者の来所前、帰宅後に清掃を行っている。	活動に合わせた生活空間が確保されているという回答であった。	今後も清潔を保つようにしていきたい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	子どもの状況を職員間で共有し、的確な支援を行えるように、会議を行っている。		今後も引き続き行っていきたい。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在行っていない。		現在行う予定はない。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部の研修に参加し、情報共有をしたり、社内研修を行っている。		今後も必要な研修を行い、職員の資質の向上を目指していきたい。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	見学時の子どもの様子も踏まえて、契約時にアセスメントを取り、計画を作成している。半年に一度モニタリングを行い、どのような支援が必要なのか話し合い、計画の更新も行っている。		適切な支援を行っていくために、今後も細やかなアセスメントを行っていきたい。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に合わせて計画を作成している。	問題がなく行われているという回答であった。	子どもの状況を保護者と共有し、今後も計画の作成を行っていきたい。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具体的な支援内容に加えて、現在の状況も分かりやすいように記載している。		具体的な内容を入れながら、保護者の方にもわかりやすい計画の作成を作成していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に沿った支援を行っている。	問題なく行われているという回答であった。	今後も計画に沿った適切な支援を行っていききたい。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	担当者が活動プログラムを立案し、どのような取り組みにしていくのか話し合い、より良い活動プログラムが出来るようにしている。		今後も子ども達が楽しめるようなプログラムを立案していききたい。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	その時期に応じた支援を行っている。	半数以上は問題がないとの回答であったが、活動プログラムの固定化については、どちらともいえないという回答が少数あった。外出支援を行ってほしいという意見があった。	今後も子ども達の様子を見ながら、その時期にあった細かな支援を行っていききたい。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	様々なプログラムを経験出来るように、活動プログラムを考えている。 季節に応じたイベントを取り入れている。		今後も様々なことが経験出来るように、工夫したプログラムを実施していききたい。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日ミーティングを行い、現在の子どもの状況などを共有している。		適切な支援を行っていくために、引き続きミーティングの時間を大切にしていきたい。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎終了後に行い、記録に記入している。		毎日の子ども達の関わりの中で、振り返りなどはとても大事なことなので、支援終了後には引き続きミーティングを行っていききたい。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	実施記録、個人記録に記入をしている。 必要に応じて、行動記録に記入をしている。		何かあった時などに振り返りが出来るように、きっちりと記録を取るよう今後もしていきたい。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回必ず行っている。		今後も半年に1回は必ずモニタリングを実施し、子ども達の現状にあった計画の見直しを行っていききたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	利用している子どもの情報共有のためにも参加したいと思っているが、サービス担当者会議が行われることがない。行われない分、何かあった時には電話で連絡を入れるようにしている。	子ども達のより良い支援のためにも、サービス担当者会議が実施される場合には積極的に参加していきたい。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在、対象児がいない。	対象児がいるようになったら、十分な情報提供を行っていき、円滑な移行支援に協力していきたい。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	各機関への連携は積極的に行い、何かあった時には連絡を取るようにしている。研修は可能な限り参加している。	各機関と連携を取るためにも、様々な研修に参加したいと思っている。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	公園に遊びに行った時に近所の子ども達と一緒に遊ぶことがある。	わからないという回答が多かった。 地域の公園で近所の子ども達と関わる機会をこれからも作っていきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在、行っていない。	わからないという回答が多かった。 現在行う予定はない。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に行っている。	問題はないという回答であった。	今後もわかりやすいような丁寧な説明を行っていききたい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画の変更の度に行っている。	問題はないという回答であった。	今後もわかりやすいような丁寧な説明を行っていききたい。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実際に行っている支援の成功例や失敗例など具体的に話し、支援に繋げている。	わからないという回答が少数あった。	今後も必要に応じて、実践例を挙げながら支援を行っていききたい。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	実施記録で様子について記入、帰りに送迎時にて、その日の様子を詳しく伝えている。	問題はないという回答であった。	今度も保護者との共通理解を徹底していききたい。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や電話相談、面談などにて、その都度受け付けている。それを踏まえて支援を行うようにしている。	問題はないという回答であった。	保護者が相談しやすいように、その都度適切な対応などを行っていききたい。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在、行っていない。	いいえ、わからないという回答であった。	現在行う予定はない。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	何かあった場合には、すぐに対応できるようにしている。	問題はないという回答であった。	サービスの質を上げていくためにも、苦情があった場合は職員間で共有し、適切な対応をしていききたい。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	状況がわかりやすいように、写真を掲示しながら説明を行うようにしている。	問題はないという回答であった。	今後もわかりやすいような情報伝達を行っていききたい。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、子どもの様子や活動について、おたよりを発行している。	問題はないという回答であった。	今後も変わらずおたよりを発行していききたい。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いには気を付けている。	問題はないという回答であった。	今後も個人情報の取り扱いには気を付けていききたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成している。 その都度事前に説明をしている。	問題はないという回答であった。	今後も必要に応じて、周知徹底をしていきたい。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に行っている。	わからないという回答が半数だった。	訓練を行った際にはその都度、知らせるようにしていきたい。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止について研修を行い、適切な対応をするようにしている。		今後も定期的に研修を行っていきたい。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	計画に記載し、説明も行っている。		今後も契約時に説明を行っていきたい。 職員内でも周知もしっかりとしていきたい。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	指示書を要する対象児はいないが、アレルギーがある子どもがいる。おやつ作りの際は、成分などを気を付けて確認し行うようにしている。		保護者の方に気を付けなければならぬことを確認し、誤食がないように気を付けていきたい。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	その都度ヒヤリハットを記入し、次に同じことが起こらないように共有し、改善策を話し合っている。		今後も職員間での情報共有を徹底していきたい。